



# 竹の子だより

第131号 令和5年4月22日(土)発行  
発行責任者 晝場 浩司  
編集 明星会本部  
発行 社会福祉法人 明星会

【住所】〒250-0052  
神奈川県小田原市府川752-5  
【TEL】0465-32-7740  
【FAX】0465-32-7741

明星会HP



※

## 理事長 安藤 進

今年、新型コロナウイルスが感染症法の「5類」に移行になります。事業所での行事やご家族等の皆様への対応がコロナ禍前に少しずつ近づいています。

感染症対策の3年間、利用者支援に工夫を凝らしてストレス解消の支援をしてきました。5類へ移行後、利用者の皆様の笑顔溢れる生活に戻れるよう努めてまいります。また、地域福祉の向上のため、法人の資源を活用して積極的に貢献してまいります。

皆様と一緒に活動して安心して暮らせる地域を創りましょう。

## 総合施設長 ひるば ひろし 晝場 浩司

明星会で迎える3回目の春、今年も足柄桜はきれいな花をほころばせました。

令和4年度からパワハラ防止対策が義務化され、明星会では安藤理事長の「パワハラを起こさせない、許さない！」メッセージを発信し、パワハラ防止のポスター掲示、研修、アンケートなどに取組みました。ハラスメント防止は職員のみならず、その先に利用者様への虐待防止にもつながる共通の“倫理(モラル)”といえます。誰もが公平で安心できる環境。法人職員の笑顔が利用者様のほころぶ笑顔となりますように。



竹の子学園

※

※

※

# 令和5年度 明星会事業所 職員紹介



## 竹の子ホーム



管理者 露木とし

十数年ぶりに竹の子ホームと相談支援センターエールの兼務となりました。当時から顔なじみでもあるホームスタッフの皆さん、支援員、そしてエール相談員の皆さんと共に今後も「根気・元気・呑気」をモットーに歩んでいきたいと思ひます。

## 相談支援センター エール



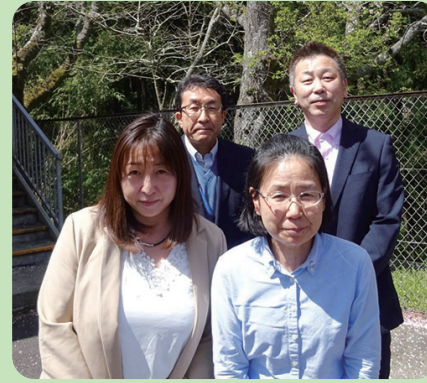
## 竹の子ケアセンター



管理者・サービス管理責任者  
清田 聡

WBCの戦いは、記憶に新しいかと思ひます。会見での「素晴らしいチーム」、「最高のメンバー」という言葉。まさしく、皆様と一緒に、最高の事業所が作れるよう、精一杯、努力いたします。

## 竹の子学園



副施設長・サービス管理責任者  
佐藤光夫

今年度は、支援力をモットーにチーム一丸となり利用者の意思決定支援に力を入れて参ります。また、短期入所、日中一時の利用も随時お受けしております。今年度もよろしくお願ひ致します。

## 本部



## 竹の子学園 1・2 寮



## 竹の子学園 3・4 寮



## ホームスタッフ



## 放課後等デイサービスぽっぷ



## パン工房ハッピー



## ハッピー・ONE・STEP

公益事業  
(学習支援・居場所づくり)

## 永年勤続表彰

※規定改正をし、非常勤職員を表彰します。

社会福祉法人明星会  
永年勤続表彰  
勤続二十年

溝田 洋子  
遠藤 愛香  
内海 直美

## 新職員紹介



竹の子学園  
渡部 優子

縁あって竹の子学園で働かせていただくことになりました。一日でも早く皆さんのお力になれるよう頑張ります。

相談支援センターエール

村田 寛子

はじめまして。ベテランの職員の方々を見習い、楽しみながら仕事をしたいと思ひます。



## 非常勤新職員紹介

放課後等デイサービスぽっぷ

香川 享子 / 柴 菜津美

竹の子学園

金野 恵美子

行動が遅く、覚えることも遅くご迷惑をおかけするかもしれませんが、どうぞ宜しくお願ひ致します。



● 放課後等デイサービスぽっぷ  
渡邊 菜美 / 山崎 歩  
非常勤職員から常勤職員へ

● 竹の子ホーム  
松本 薫  
常勤職員から非常勤職員へ

## 令和5年度事業計画

(◎: 重点取組事項)

- 実行性のある組織体制の構築  
◎働きやすい職場づくりの推進  
・社会福祉法人としての事業点検
- キャリアパス制度の充実  
◎キャリアパス制度の推進  
・人事考課制度の見直し  
・人材育成・職員研修会の参加(次世代育成)
- 地域におけるセイフティネットワークとしての役割  
・地域福祉の推進
- 大規模修繕費の確保  
・ICT導入による業務の効率化を推進  
・大規模修繕に向けた取り組み(計画づくり)

# 善意の気持ち

小田原市社会福祉協議会 様より  
▼ お菓子



県立おだわら諏訪の原公園 様より  
▼ 大根



小川 博 様より  
▼ のらぼう菜・ブロッコリー



竹の子学園家族会が Airdog (空気清浄機)を購入しました。食堂や会議開催時に使用させていただきます。



竹の子学園家族会役員の皆様

## 子どもの学習支援・食糧支援への補助金・協力金活用について

神奈川県補助金・協力金を活用して、子どもの学習支援「ハッピー・ONE・STEP」に参加する子ども達の感染対策として、空気清浄機や非接触体温計などを購入しました。毎回学習支援の会場で役立っています。

また、食糧支援(自主活動)についても、学習支援での「パン工房ハッピー」のパン提供とともに、法人の新たな相談につながった世帯に、当面の生活支援としてパンや手軽な保存食などを提供、ここでも協力金を活用しています。

(書場)

## 竹の子ケアセンター 農福連携で収穫体験

二月上旬、南足柄市の農福連携の取り組みで、竹の子ケアセンターの利用者様四名が南足柄市内の清見オレンジの収穫体験に行ってきました。農家さんのミカン畑にお邪魔し、はさみの使い方や手順を教わりました。最初は上手く出来ませんでした。慣れてくると上手にオレンジを採る事ができ、竹の子ケアセンターで待っている皆さんの分もいただきました。

## 役員会等開催報告

【令和四年度第四回理事会】が令和五年三月十六日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催されました。

決議事項は以下の通り。議案第一号「令和四年度第二次補正予算案について」、議案第二号「令和五年度事業計画案及び令和五年度体制について」、議案第三号「令和五年度予算案について」、議案第四号「役員等賠償責任保険契約について」、議案第五号「第三者委員の選任について」、議案第六号「諸規定改定について」、承認されました。

(藤澤)



利用者様は「初めての収穫体験、楽しかった。もつと色々な農業体験をしてみたい」と笑顔で話されました。帰りに農家さんから「二週間ぐらい置いてから食べたほうが美味しくなるよ」と教えてもらい、皆で美味しく頂きました。

(廣澤)

※この収穫体験については、令和五年二月二十七日発行の日本農業新聞に掲載されました。

## 退職職員

竹の子学園



寺嶋 眞保  
竹の子学園に入職して十一年、利用者様、ご家族、職員の皆様に支えられて働くことができました。本当にありがとうございました。

● 曾根田 洋子 (非常勤職員)



鈴木 秀和  
約十一年間、沢山の経験と学びを得ました。明星会の仲間に出会えた事が何よりの宝です。ありがとうございました。

竹の子ホーム



浅野 慶子  
この度、定年退職となりました。ポヌールの方々は、穏やかで、明るく楽しく過ごせました。ありがとうございました。

相談支援センターエール



和田 英晴  
十二年間お世話になりました。沢山のご指導を頂き多くの事を学ぶ事が出来大変感謝しています。本当にありがとうございました。

竹の子ケアセンター



志賀 明日美  
四季折々の風景を感じながら、明星会で過ごした日々は私の人生の中で貴重な時間でした。皆様には感謝申し上げます。



松井 康隆  
十余年お世話になりました。有り難う御座いました。

